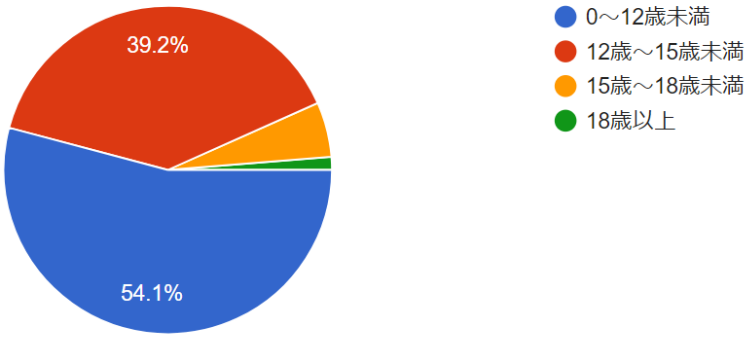
NPO 法人ピルコン　性教育についてのアンケート集計結果

実施期間：2018 年 4 月 11 日～2018 年 5 月 6 日
方法：インターネットによる無記名アンケート
回答数：314
回答者年齢：17 歳～82 歳（うち、34 歳以下の若者：142 名、45%）

Q1. あなたが「性交」「セックス」という言葉を知ったのは、何歳のことですか？
⇒「0 歳～12 歳未満」が最も多く 54.1%、次いで、「12 歳～15 歳未満」が 39.2%となり、**中学校段階（15 歳未満）までに知っている人の合計は 93.3%**となりました。
とくに、34 歳以下の若者においては 65%が「0~12 歳未満」の時期に言葉を知っていたことが分りました。以下でも確認していきますが、マンガや雑誌などメディア媒体からの影響は大きく、メディアへのアクセスのしやすさなどと関係していることが予想されます。



	34 歳以下	35 歳以上
0～12 歳未満	65%	45%
12 歳～15 歳未満	31%	46%
15 歳～18 歳未満	3%	8%
18 歳以上	1%	1%

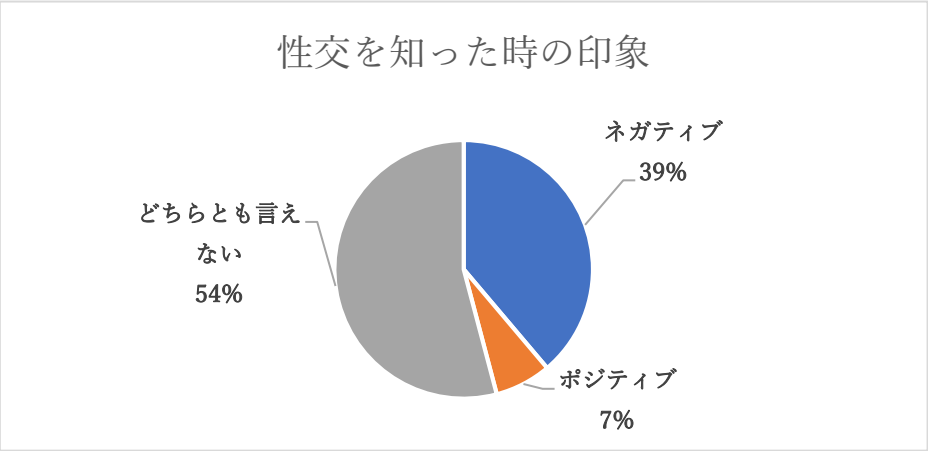
Q2. Q1 の際、どのような情報源から聞きましたか？
情報源として、「友だち」が最も多く、次いでメディアが定着していることが分かりました。34 歳以下の若者の場合、メディア媒体のなかでも「漫画」と「アダルトサイト」が 35 歳以上よりも多い傾向となっています。また、「学校の性教育の授業」は 35 歳以上だと言及されなかったのに対して、34 歳以下だと 10%となっており 3 位となっています。

	34 歳以下	35 歳以上
1 位	友だち（31%）	友だち（34%）
2 位	漫画(18%)	雑誌(20%)
3 位	雑誌(10%) 学校の性教育の授業(10%)	漫画(12%)
4 位	アダルトサイト（9%） 書籍（9%）	書籍（9%）

（その他：先輩、親、テレビなど）

Q3. あなたが最初に性交とは何かを知った時に印象に残ったこと
○ 驚きや、疑問、戸惑いの他、ネガティブな印象も多く、ポジティブな印象は少ない結果となりました。

性交を知った時の印象は、ポジティブなものは 7%であり、ネガティブなものは 39%、どちらとも言えないものが 54%となった。（n=85，自由記述より、調査者が分類）



●ポジティブな印象の回答の例：
面白そう，楽しそう，気持ちいい事，疑問が解け、納得！ など

●ネガティブな印象の回答の例：
いけないこと，嫌らしいこと，グロい，子づくりとは無関係の大人がやる汚い遊び，よく分からず気持ち悪いと思った，したくない，痛そう，恥ずかしかった，変なこと，なんでこんなことをするのか、しなきゃいけないのか訳が分からない など

●どちらとも言えない印象の回答の例：
驚いた，子どもをつくるためのもの，信じられなかった，何やらわからないけどエッチなもの。なんとなく興味を惹かれるもの，人間がどうなってるのか意味がわからなかった，男と女が裸になって行う、よく分からないもの，性について無知である事を自覚し、学校や家庭で教わらなかった事を不思議に思いました，特になし　など

Q4. あなたが中学校段階で必要だと思う性教育について、意見を聞かせてください。
（多数いただいた意見より一部抜粋、カッコ内は意見を述べる立場として回答者が選択もしくは記載）

○**若者からは接触機会が広がるアダルトコンテンツに対して、相手を傷つけない性行為**について学ぶ機会を求める声が多くありました。

中学生になると一気にアダルトコンテンツへの接触機会が増え、また社会からもそのように(性について知っているという前提で)扱われるようになります。成人向けのアダルトコンテンツは、現実の性的関係においてはタブーである現象を扱うことも多く、これらのみで性についての学びを得ることは不可能です。また、同意を得ていない性的な行為は断っていいという自己防衛の知識がないと、レイプやセクハラ被害に遭った際の対処も遅れます。
（26 歳、若者）

男子が性的なコンテンツに触れる前に、子作りや性的欲求の発散のためなどというよりもセックスは愛情のある 2 人の間のコミュニケーション方法であるということを先に教えるべきである。性教育が十分でないため性的コンテンツの歪みに気づけずフィクションとして捉えることができないため、女性に対する誤った認識が蔓延しているのだと思う。女性の胸に痛覚があることや生理が自然現象であることなどの基本的な知識すらない成人男性のエピソードをネットで見てそう思う。世界に対する日本の男女平等意識の遅れや痴漢の社会的問題などとともに授業で取り上げるべきだと考える。(20 歳、若者)

周りで彼氏を持つ友達などが増えていき性行為というものが身近になって行く中で、現実的な性教育が全くなされてなかったから。本当に必要な知識を教えてくれなかったです。
(20 歳、若者)

中学生の彼氏が、AV の影響で私に太い缶を膣に挿入するよう頼んできた時のことは忘れられません。そんなことをすれば、膣を傷つけます。私は拒否しましたが、AV が教科書代わりになっている現状は非常に危険だと思います。セックスが可能になる年齢に、相手を思いやる安全で快適なセックスについてしっかり学校で話し合うべきです。
(35 歳、若者)

インターネットにたくさんある、レイプがセックスだと思っていた。「相手を思いやってするもの」ということをもっと早い段階で知りたかった。小学生の頃からインターネットを使っていて、アダルトサイトに接続してしまっていたので、中学生でも遅いくらい。でも、せめて、中学のうちにセックスに対する教育を受けたかった。(20 歳、若者)

AV のプレイをリアルだと思うのをバカだとかありえないと考えるのは、やめてほしいです。そう思ってしまうほど他にえる情報がないんです。
緊急に正しい情報の提供を望みます。(22 歳、若者)

セックスの存在について教えるべきだと思います。わたしは学校でセックスについて習わなかったので「卵子と精子は別々の体にあるのに、どうして結合することができるんだろう」と思っていました。家に帰って親に聞くと「そのうち保健の授業で習うよ」とはぐらかされてしまいました。わたしは子供ながらにこれ以上聞いてはいけないのかなと思い、偶然図書室で本を読むまで知りませんでした。
セックスという行為がある、と習わなかったので、性感染症の授業でも「他人の精液をさわる機会なんてないから、普通は感染しないよなあ」と考えていました。(23 歳、若者)

アダルトビデオの影響か、セックスについて面白がって発言する男子が多くいるのは仕方ないかと思いますが、高校に入ってから妊娠し退学した同級生がいました。
性教育は絶対にしなければならないと思います。
(29 歳、若者)

私は中学校に上がると摂食障害になりました。誰も私のことを分かろうともしてくれませんでした。好き勝手なことを言って、殺されかけたこともあります。心を殺されたのは数え切れません。そんな中で性教育を学んでもあまり意味がないんじゃないかと思います。
だから、きちんとした設備で、環境を整えて、病気の子がいたら助ける、それくらいして下

さるのなら、性教育はとても必要だと思います。
きちんとした性教育がなかったせいで、不快な思いをしたこともあるので、そんな人は私だけではないと思っています　(25 歳、若者)

性教育は小学校低学年から少しずつ始めるべきだと思うが、中学生レベルであれば、その具体的な仕組みや方法、危険性など、また性が原因となる犯罪、それに巻き込まれないための知識、巻き込まれた時の対処法を包み隠さず伝える必要があると思う。
中学校のエピソードではないが、オーストリアの高校では、一人一人にコンドームと人参を渡して、使い方を教える授業があった。
（30 歳、若者）

コンドームをつける練習を男女関係なく実施するのはほんとに効果があると思います。確かオランダの性教育で実施されてましたよね。実際にコンドームをつけるのがセックスの時が初めてになってしまうのは避けねばならないと思います。コンドームを買うのも 18 禁コーナーにあることも多いですし、コンビニとかで買うのもなんか恥ずかしいという人がいるかもしれません(そもそも避妊、性病、性暴力について話すことで笑われる環境を作ってしまっているのがおかしいと思いますが)。そういう人にも、授業でやることで隠すことではなくむしろマナーとして当たり前のことなのだとおもえるようになるかと思います。あとセックスという言葉使うべきではないですか？セックスは愛し合う人たちのコミュニケーションのはず、なぜ堅苦しい感じがする性行為や性行動というのか。そして愛し合う人たちのコミュニケーションで別に汚くも、卑しくもないのだということをもっと前面に出すべきだと思います。勉強的にするためかわかりませんが、理科的な情報だけがあたまにのこるような印象だったのを覚えています。恋愛小説を読んでいてセックスのシーンがあるだけですごく笑われるのが私には違和感でしかありません。もちろんセックスしないのが誰かにとっての愛なのかもしれません。でもセックスが愛のコミュニケーションであることの方が多いでしょう。そうやってみんなの命が紡がれていったのだということ、そしてセックスは交尾であり、コミュニケーションだけではすまないかもしれない、傷つける手段になることもある、だから避妊や性病検査、そして何より同意をとることの大切さを伝えられるような性教育になっていけばなと思います...すみません女性経験も全くない若造が長文失礼しました。(若者、17 歳)

○**保護者や教育・医療・福祉に関わる人からも中学校段階での性交、避妊についての具体的な性教育は必要であり、それ以前にも性教育は必要**だという声が多く寄せられました。

私の子ども時代に比べて今はあっという間に、暴力的な性の情報にアクセスできる時代で

す。圧倒的にその量が桁外れに多いはず。そういった情報に日常的に触れているとそこがスタンダードになりかねない。そこが怖いです。自分も相手も大事にするために、正しい知識を小学校高学年、遅くても中 3 くらいまでには教えてあげたい。（43 歳、保護者）

娘が「被害」に遭うリスクを考えれば、性的なことの存在は早く教えて、危険を認識させておきたい。「どんな危険かは説明できないけど、危ないから逃げろ」では、子どもが自律的に危険回避できない。（44 歳、保護者）

SEX・妊娠の具体的な仕組みと合わせて、自分と相手を尊重するということも教育に取り入れて欲しい。生徒同士でディスカッションさせて欲しい。また、自分が望まない性的な接触を求められた時の断り方も授業の中で話し合えると良い。私が若い頃、16 歳の男の子と付き合っていた時、性的な接触を求められ、どう断ったらいいのか、また断っていいのかも分からず悩んだ。拒否しても「照れているだけだろ」とか「付き合ったら SEX するのは普通だよ」と言われ、私の言葉を真摯に聞いてくれなかったので、私は精神的に疲弊し、自尊心が傷付いた。今も尚トラウマである。当時、相手の男子は私が初めて付き合った女性だったという。恐らく、当時の彼にあった性に関する知識・認識は、アダルト・コンテンツや、雑誌、漫画、男の子同士の価値観から取り入れたものしかなかったのであろう。（31 歳、保護者）

性交、避妊などのキーワードを使って具体的に指導して良いと思います。
女の子の場合、何も知らずに性交をして、望まない妊娠をして、望まない出産や苦労や周りに迷惑をかける事や、胎児して心身を傷める事、興味本位でパートナー以外と性交した場合も後で後悔する事などが防げると思います。男の子の場合でも命や女性の身体の大切さを知っているのと知らないのでは行動が違ってくると思います。とても大切な教育だと思いますが、東京都は何を考えているのでしょうか？　（36 歳、保護者）

中学生になる前の段階ですでに、第二次性徴を迎えて身体に変化があったり、級友に恋心のようなものを抱く子もいたり、残念ながら中には私のように性的な被害を受ける子もいます。
性に関する教育は、幼児期や小学生から段階的にしていくべきだと思います。
中学生の段階では、正しい性愛の知識や、相手を尊重する考え方、偏ったりむやみに刺激の強い情報への対処の仕方、万が一性的な被害を受けたり見聞きした場合の対応について、教えて欲しいです。
（38 歳、保護者）

性器について、性交についての正確で詳しい情報と、お互いの体と心を大切にする意識とそ

の方法について知らなかったために、自分の体について根拠も意味もない劣等感を持って悩んだが、それを誰にも言えなかった。その一方で、不正確で曖昧な性のイメージに振り回された。女子校だったので、なおさら男子の性についての説明をきちんとしてほしかった。
(47 歳、保護者)

避妊、性交についてはもちろん、アダルトビデオの害（女性の物化、女性は無理やり男性にセックスされてもいい、などと視聴男性に思わせてしまう)、合意することの大切さ、女性はノーと言っていい、安全で気持ち良いステキなセックスを、などなど。思春期男子の母として、そして人間の性について考えさせられる仕事(臨床心理士)として、思うところは多々あります。（47 歳、保護者）

妊娠出産についての科学的教育。中学校ではとにかく妊娠は良くないことだと多方面から言われたが、妊娠や出産の仕組みはあまり教わらなかった。大人になっても妊娠に良いイメージが持てず、また周りに妊娠出産をした人がいてもどう接して良いかわからなかった。自分が妊娠して初めてつらさも喜びもわかった。妊娠中、育児中はどうしても周りに頼らなければならない状況になることがあるので、妊娠や性交をむやみやたらに悪いことだと教えず、妊娠や出産の仕組みについて科学的に教えてほしい。恥ずかしいこと、いけないことという価値観ではなく、身体の変化、妊娠による自身の社会的状況の変化について客観的事実を伝えれば、今の自分にとって良いか悪いか等は自分で考えるだろうし、考えることが重要であると思う。
教育現場では、価値観を教えるのではなく、知識を教えて考えさせることで、自身で判断して生きていく力を養うべきではないか。少なくとも私が中学生の頃の性教育は価値観を教える教育であったように思うので、数学や理科といった他の教科と同じように科学的に教え、価値観はみんなで議論したり、自分で考えたりして作っていけるようになると良いと思う。
（27 歳、保護者）

第二次性徴によってどんな気持ちが起こって来るのか、男女による違いなど(ホルモンバランスによってイライラとか性欲に左右されやすくなるとか)、自分自身相手を大事にする方法(今の自分を受け入れることが大事にすることの一歩とか)。
中 2 くらいの時放課後同じ委員会だった男子に誰もいない教室の隅で下着の上から性器を触って欲しいと手を捕まれた。当時はこれはどういうことなんだ?と思ったが、誰にも言えずうやむやにしていた。好きとか嫌いとかの前にホルモンによる衝動だったのかな?と今では思えるが…。
大学生～今の夫と付き合う前まで不特定多数の人との性交渉があった。親には自分を大切にしなさい!と良く言われたが、自分を大事にするってどういうことなのか分からなかった。

自分のことが嫌いで親に認められていないのでは?という寂しさに苛まれていた。寂しさを埋めるためにいろんな人と関係を持っていたように思う。
（35 歳、保護者）

中高一貫校(女子校)で学年別に産婦人科の先生から性教育の講義が 1 度あった。
それは受けて良かったと思う。
避妊の方法とかもそこで具体的に聞いたし、性感染症や出産時のリスクの話もあって今思えば良い学校に行けたなと思った。　（39 歳、保護者）

本当は中学生でも遅いと思っている。
30 年以上前であっても、私のように性について間違った情報を
手に取る場合もある。性教育をしっかりしないと。
痴漢の抑制や性暴力・デート DV 等も含めて性犯罪も減らないと思います。
「寝た子を起こすな」の考え方は古い、
子供の方が「既に起きていて大人も危惧する知識がある」場合もある。
立場上言えないが、小学生であっても性交渉をしている事例は
目に見えないだけであって、かなりの数になっている事を
国を含めて現実を知るべきだと思います。
（45 歳、保護者）

性のことを子供に教えるのはまず 3 歳くらいの時に僕･私はどこからきたのか、という疑問を持ったときにチャンスがあると言われています。性教育はまず家庭で行います。親がこどもの疑問にきちんと答えていくことが大切です。また子供に性のことを親に聞くのは恥ずかしくない、というオープンな環境を家庭内で作ることも大事です。次のチャンスは女の子の月経が始まり、男の子の射精が始まる少し前の時期です。10 歳までにきちんとした絵本などで赤ちゃんがどうしてできるのかを教えることが大事です。この年齢を超えると親から教えることがむずかしくなります。恥ずかしさのほうが先にたったり親からの情報だと気持ち悪いと感じるようになるからです。中学生以上になったら学校の先生や保健担当の親以外の人が性交、避妊、性感染症、性にまつわるハラスメント(近親者のハラスメントも含む)、自分の身体は自分自身のものであること、バイセクシュアルなどの性の多様性等々を教える必要があります。特に一人一人が違う感受性を持つという多様性に関することを性のことを教えるときに一緒に教えていくことが大事です。また、射精や夢精を恥ずかしいことと考えてしまったり、乳房の大きさが左右違う、包茎である、などという身体にまつわるコンプレックスもきちんとした知識で解消してあげないといけない時期が小学校高学年から中学校にかけて行う性教育の大事な点です。ほとんどの日本の男性が包茎は異常だと勘違いしています。これもきちんとした性教育をしてこなかった弊害のひとつです。性と愛

の関係についてもオープンな話し合いの場をもてることが重要です。性教育がまったくない日本ではポルノを見て性交とはこういうものだという誤った知識が蔓延しています。セックスへの感受性は男女でも違うし一人一人全く違うので相手の立場で考えられることがとても重要です。そこから愛情のこともっと深く考えるようになると思います。僕自身がきちんとした性教育がある環境で育っていたらもっと豊かな性の体験ができたのではないかな、と思いますので今の日本でこどもたちが豊かな性と愛の知識と体験ができるような広い視野からの性教育をきちんとしていくことが大事だと感じています。
（67 歳、保護者）

年々性の情報に触れる年齢は下がっているのに、病気や望まない妊娠に対する知識がなさすぎるのはとても怖いこと。私たちが思春期の頃でさえ、セックスはわかっても避妊具の使い方や売っている場所すら知らなかった。　（40 歳、保護者）

インターネット上の動画は過激なものが多く、実世界での性交だと相手はそういった行為（顔射など）は望まず、間違った知識が一方的に配信されるている。そればかりか感染症や性交の先の妊娠のことなどと、全くリンクしていない。あくまで行為としての性交であって、大切なひとと子孫を残すための性交ではない。（41 歳、保護者）

職業柄、小中学生の妊娠の話はよく聞く。性行為の意味もわからず妊娠してしまった子もいた。中絶もできず、分娩した子もいた。若年での出産は母体の負担が重く、身体的なものだけでなく、精神的、社会的にも大きなダメージを負うことになる。そのリスクを負うのは女性。学校に戻ることも難しいだろう。そういう社会的な影響も含めて、妊娠出産について真正面から隠さずに教える教育は重要だと思う。アダルトビデオのような通常とは全く異なる男性目線のものではない、性行為、それに伴う危険性について教えるべきと思う。
（31 歳、教育や福祉・医療に携わる人、）

・性交は子供のできる行為である事
・正しい避妊の方法
・相談窓口の存在
上記三点が必要と考えます。
今は行政が精一杯やってくれていることを知っていますし、感謝していますが、現状の行政の発信力では既に知っている大人に届いても、肝心の子供達には細やかな欠片程度しか情報が届かず誤解を与えてしまいます。だからこそ学校で最低限の知識を知ってもらう事が家庭や学校での相談に繋がると私は考えています。
（34 歳、教育や福祉・医療に携わる人）

保健体育の授業では内臓、性病の名前の暗記が主だった。実際の社会生活に必要な知識は自分で得る必要があった。
特に性に関わる人権とは具体的に何なのか、それは守り、守られるべきものであると教えて欲しかった。
同級生に妊娠出産した生徒がおり、ほとんど登校しなくなった。
似た状況の時生徒が頼れる機関、制度があるのか、どのようにその情報を知りアクセスできるのか
教育機関だからこそできる情報提供、教育のサポートをして欲しい。
（32 歳、教育や福祉・医療に携わる人）

セックス、避妊、性感染症、自己決定権。
私はセックスはエイズにつながる怖いものと教師に教わりました。生理ですら隠すものと親から言われました。これでは青少年の健全な育成はできず、自分の性に関して否定的になるばかりです。いざ恋人ができて求められても戸惑うだけで、自分で選択できません。
一方セックスに関する情報は垂れ流しにされ、興味本位で手を出す子も多い。例えば少年犯罪の 6 割がレイプです。女性の自己決定権を奪うだけではなく、自らの欲望だけで正しい知識もなく、AV の手口を真似て平気でし、後から後悔するコもいます。
私は学生時代家庭教師をやっていましたが、中学生で妊娠した子がいます。誰にも言えず、周りも気づかず 8 ヶ月になるまでばれませんでした。彼女が避妊の正しい知識を持っていて、セックスをするかしないかの選択肢があり、妊娠したときに産むか産まないかを選べたら人生は変わっていたでしょう。
（42 歳、教育や福祉・医療に携わる人）

20 歳の時に、幼い頃から習い事を教えてくださっていた年配の男性指導者から性的接触を求められました。その時、自分でどう対処してよいかわからず、されるがままでした。裁判では、20 歳なのだから断ることができたと言われましたが、突然の出来事に対し、その場では判断することはできませんでした。自分の意思をきちんと相手に伝えることもできない自分が、とても悔しかったです。正しい知識を持ち、どのように行動をするべきなのか自分で判断し、行動できていれば、あの時、他の選択肢を選ぶことができていたのではないかと思います。結果的に、家族や友人を悲しませることになり、たくさんの仲間とのつながりを失いました。二度とこのような体験を、若い女性にさせたくないと思いました。海外では幼稚園児から健康に関する教育、相手に自分の意思を伝える教育が始まります。中学校段階でさえ、教育を始めるのは遅いと感じています。
（33 歳、教育や福祉・医療に携わる人）